

平成25年度 第1回学校評議員会 議事録

日時：平成25年6月27日（木）

14：00～16：00

場所：瓊浦高等学校会議室

出席者

学校評議員（4名）

安高 徹氏 松浦 守寛氏 東島 真奈美氏 篠原 順子氏

学校関係各分掌長（14名）

校長 副校長 教頭(2名) 事務長 教務部長 生徒指導部長 就職指導部長 進学指導部長
環境美化部長 保健部長 入試広報部長 学年主任（1・2・3年）

(1) 開会の辞（副校長）

(2) 校長挨拶（校長）

昨年度の評議員会での指摘を受けて、重点目標を精選した。「3年間を見据えた学力向上」とし、受験直前ではなく1年時からの指導を目指す。本年度から龍馬コースを創設。進学だけでなく就職においても学力が必要な状況を受け、普通科だけでなく機械科も学力向上を目指す。

(3) 評議員紹介（副校長）

(4) 取り組み及び方向性の説明（各分掌長）

(校長)

・学力の向上

各種検定試験を重視し、進学だけではなく就職希望者にも補習を実施する。

・広報活動の充実

ブログなどを活用しながらHP作りを充実させ、広報活動に励む。

・職員研修の充実

教育センターの協力を受けたり、先進校へ視察を送るなどしながら、教職員の資質向上を目指す。

(教頭)

・職員研修の充実

初任者研修を週に1回実施。県教育センターから指導主事を招いて研究授業を実施する。

・学校行事の活性化

・「輝く私学支援事業」

(事務長)

・施設、設備の管理について

施設、設備点検により安全、快適な環境を確保する。・授業料滞納について

担任・副担任と連携しながら校納金の滞納を少なくするようにする。

(教務部)

- ・学力の向上
生徒指導補助員の協力も得ながら学習の支援を行う。
- ・出席率の向上
出席率の向上と皆勤者の増加を目指す。
- ・図書館について
図書館を改築し、明るい雰囲気になった。昨年の10倍以上の生徒が利用している。

(生徒指導部)

- ・生徒の規範意識の確立
品位のある生徒を育てる。集団での意識を高めさせる。

(就職指導部)

- ・就職率100%を目指した就職指導
就職率100%を目指し、企業訪問などを行う。就職を決めた卒業生の事後調査を行っていく。

(進学指導部)

- ・進学体制の確立
目標を持たせて学習意欲の向上を図っていく。

(環境美化部)

- ・「きれいな瓊浦」の実現
部活動生による朝の校外清掃活動を行っている。また、美化委員による通学路清掃も実施する。

(保健部)

- ・健康で安心できる学校生活の支援
朝食を取らずに登校し、保健室へ行く生徒がいるので、まず、夜更かしや寝不足を改善させる必要がある。

(入試・広報)

- ・本校の魅力を外部に伝えるために
マスメディアを活用し、VPAなどのキャッチフレーズの定着を図る。

(第1学年)

- ・基礎クラス独自の学級経営を行うことで、のびのびと、また活気のある学年を目指している。3年後、5年後、10年後の自分を想像させる、Big Challengeシートの作成を実施している。

(第2学年)

- ・目標を持って努力し、達成することの楽しさを実感させる。
「何もしないわがままをしない」という小目標をもって、自分がしなくても誰かがするという考えを払拭させていく。

(第3学年)

・進路決定に向けて

目標に関しては、夢の実現とともに、社会に貢献できる人材・社会に必要とされる人材を作っていきたい。現在、志望コース別の補習を実施しており、生徒の適性に応じた進路指導に力を入れている。

(5) 特色ある学校づくりについて学校評議員からの主な意見

- ・学習、部活動、行事を楽しみたい生徒が多いと感じる。大切にしてもらいたいのは、確かな学力と伝統的な文化。
- ・昨年呼びかけた朝読書は実施されており、嬉しく思う。続いて、小論文指導の取り組みを行ってはどうだろうか。
- ・当日ではなく前もって評議委員会の資料を頂けたら、もっと深まった議論ができる。
- ・近年、瓊浦生の悪い話を聞かなくなった。矢の平の住民は、清掃等を瓊浦の部活生が手伝ってくれたと言っていた。
- ・一日一つ善いことを実践し、自信を持った高校生活を送ってほしい。
- ・龍馬コースのような新しい取組が行われていることは良い。
- ・いじめ問題は、生徒達へよく目配りをし、事前防止に努めてほしい。
- ・英語に関しては、役に立つ英語の習得を実施してほしい。
- ・しっかり相手に伝わる挨拶を実施してほしい。ただ挨拶するのではなく、第一声をしっかりと出し、さわやかな挨拶を。
- ・継続すること、積み重ねが大事。
- ・短い言葉でキャッチフレーズを作るとわかりやすく、浸透しやすいので良い。
- ・ホームページは重要な発信源である。
- ・人と比べるのではなく、昨日の自分と比べるようにしてほしい。
- ・先生方が様々なことを細やかに考えていて、感動した。
- ・キャッチフレーズでまとめるのは大事。
- ・最終的に目指しているのは、人間性の創造。
- ・卒業後も生徒の状況を気にかけているのは、生徒にとって非常に心強くて素晴らしいと思う。

(6) 閉会の辞（副校長）